

「他者意識を育む」

つい最近まで「夏日」を記録していましたが、まだ記憶に新しいところですが、一転して空気が冷たくなり、気温の変化はわずか1週間ほどで3カ月も進んだようにも感じ取れます。

11月中旬には北寄りの季節風が強まり、3年ぶり「木枯らし1号」の便りに冬の訪れを感じました。

体感的にも短い秋でしたが、校内では子どもたちが活動する姿から様々な秋を感じることができました。「読書の秋」にちなんだ読書週間や「ちゃちゅちょ」の皆様による全校読み聞かせ。東市ケ尾小学校の児童を招きサッカーとバスケットボールで交流を深めた「スポーツの秋」。青葉区内の小学生が青葉公会堂に集い、音楽を通じて互いに鑑賞し合った「芸術の秋」。生活科の学習では「秋」を題材に学習したことを生かして企画した「あきまつり」に、幼保小連携でかわりのある近隣の幼稚園や保育園の園児を招いて楽しいひと時を過ごした「学びの秋」。人と関わりながらそれぞれに秋を満喫していたように思われます。

さて、12月を迎えますと横浜市内の小中学校では、世界人権デーに合わせて人権週間を設け、授業の中で人権について考えを深める学習活動が展開されています。本校でも人権週間期間中に子どもたちの人権意識を高める学習活動に全校で取り組みます。今年はテーマを『他者と自己の違いを知り、「互いの良さを認め合う」人権感覚を磨き 人権意識を高める』と定め、子どもの成長段階に応じてそれぞれの学級で活動します。全学年共通の取組は「人権標語づくり」。各学級で決めた「あったか言葉」についての振り返りをしたあとに一人ひとりが人権標語を考え、用紙に書いて掲示します。横浜プログラムでは各学年の成長段階を考慮してプログラムを選んで行います。

次の内容は、昨年を取組例です。

- 1・2年生 「自分のよいところカルタ」「わたしっていいな ホメホメ大作戦」
- 3・4年生 「いろんな気持ちを表現してみよう」「ナイス！アイデア！」
- 5・6年生 「考えを広げよう」「自分も相手も大切に伝える伝え方 パート1・2」

子どもも大人も社会生活を営む上で他者との関わりを避けることはできません。時にその関わりの中で摩擦を生じ、人を傷つけたり、自分が傷ついたりすることは少なくありません。しかし、多くの人々は対人関係上の経験を生かして成長を重ね、他者とのより良い関わり方や折り合いの付け方を学んでいきます。荇田西小の子どもたちも様々な経験を通じて友達との折り合いの付け方を身に付け、人を敬い大切にできるように他者意識を育んでいきたいと思えます。

今年もあとひと月で2023年が終わります。どうぞよいお年をお迎えください。